

東京都小学校国語教育研究会研究主題

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習

—身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める—

話すこと・聞くこと部 研究主題

求めて関わり、自他の学びの充実を目指す話し合い

第4学年国語科学習指導案

単元名 み力を発見！われら学校宣伝部 ～関わり合いながら話し合い、考えをまとめよう～

日 時：令和7年2月21日(金)5校時

児 童：江東区立第五大島小学校 第4学年2組 23名

担 任：江東区立第五大島小学校 教諭 新村 昌男

指導者：板橋区立板橋第七小学校 教諭 大越 慎一郎

1 単元の目標

- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2)ア
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの共通点や相違点に着目して考えをまとめている。 (A(1)オ)	①進んで互いの意見の共通点や相違点に着目しながら話し合い、学習の見通しをもつて、考えをまとめようとしている。

3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

4年生の児童は、入学時からコロナ禍で対人関係に制限のある中で生活してきた。今日的な状況では、当時に比べ緩和しているものの、コロナ禍前と比べ、対面での友達と話合う活動の経験不足は否めない。例えば、話し合いの場面において、自分の考えを主張しすぎたり、友達の考えを受容せずに話し合いを進めてしまったりすることが多い。また、その場で即興的に自分の考えに適した言葉を選択できないことがある。経験不足を補うために、各学習で友達と話し合ったり、交流したりする時間の確保の他、朝の会のスピーチなどを通して話したり聞いたりする時間を設けている。また、「クラスみんなで決めるには」（光村図書4年下）での、学級全体での話し合いでは、司会等の役割を十分に発揮できず意見がまとまりきらない場面が多かった。

これらの実態を踏まえて、本単元では6人程度で1つのチームを作り、話し合いを行う。話し合いでは、進行を

可視化したり、モデルを提示したりと、幾つかの手立てを用いる。「話合うこと」について児童が意識しながら学習することができるようにしたい。

(2) 学習材について（学習材観）

本学習材では、他校の4年生の児童に向けて自校の魅力を紹介するために、チームごとに紹介する内容と、工夫について話し合う。自校の魅力について考えを広げ、深めることは、愛校心を高める機会となる。また、来年度高学年へと進級して委員会活動等で学校を先導する際には、自校の特徴に自信をもって取り組むこともできると考える。

学習材化するにあたり、他校への紹介方法を1分間のショート動画とした。近年、SNSや動画投稿サイトが急速に成長していることから、動画を作り発信することは、児童にとっても身近で考えやすい手立てとなる。魅力を動画で紹介する利点は、写真や絵など静止画では伝えられない実物の動きや音が伝えられることや、インターネットを介して、時間や場所を選ばずとも閲覧できる等である。本単元では、このショート動画の作成を終末に据えることで、話し合いへの意欲が高まると考えた。

(3) 単元について（単元観）

本単元は、ショート動画の撮影という学習材が先行し過ぎないように、話し合いについて学ぶことに課題意識をもたせる必要がある。第一次では、学校の魅力を出し合い、紹介したい魅力ごとにチームを決める。第二次では話し合う前に、話し合いについて学ぶ時間を1時間確保している。この1時間は、これまでの話し合いについて振り返り、これからの話し合い方について学ぶことを顕在化させる。その後3時間を使って、チームでの話し合いを2回行う。1回目の話し合いでは、チームごとの伝えたい魅力について、どのようなところが魅力なのか、動画の内容について話し合う。2回目の話し合いでは、1回目の話し合いで決まった内容を基に、撮影の仕方等どのように工夫して撮影するかを話し合う。2回の話し合いを通して決まったことを基に、それぞれ動画の撮影を行う。第三次では、撮影した動画をクラス内で鑑賞し合い、単元の話し合い活動を振り返る。

この単元での重点は2回の話し合いである。2回の話し合いは、話し合う視点は異なるが「考えを出し合い、比較検討し、まとめる」という指導事項は同じである。話し合いに入る前時で知識として習得したことを、1回目の話し合いで実践し、振り返り、2回目の話し合いに臨むことで、指導事項の定着を図ることができる。話し合いの際には、言葉選びや聞き方といった「態度面」と、様々な考えを収束させる「まとめる力」の2観点を、知識として得たり、実践したり、振り返ったりしながら生かせるようにしていく。

4 話すこと・聞くこと部で捉える「言葉による見方・考え方を働かせる」とは

話すこと・聞くこと部では、「話すこと・聞くこと」の学習における「言葉による見方・考え方を働かせること」を次のように捉えた。

言葉による見方とは、数ある言葉の中で、相手(対象)や目的、話題、聞き手に与える印象や聞き手の様子、話し手の意図や思いに即して使われた話し言葉の意味や働き、使い方に注目することと考えた。

言葉による考え方とは、聞き手の立場や思い、話し手の立場や思いに即して話し言葉の働きを捉え直したり、説得や推薦などの目的に応じてどのような言葉を使うとよいかを比較・吟味し、言葉の意味や働きを問い直したりすることと考えた。

これらの考えを踏まえて、どのような言葉を選び、どのような言い方で伝えれば相手に伝わるかを自覚していくことが「言葉による見方・考え方を働かせること」であると捉えた。

5 研究主題に迫るために

(1) 児童が（本単元において）身に付けたい力を意識し、主体的に学習に取り組む。

①話し合いのモデル動画

本単元で身に付けたい力は、「目的を意識して互いの意見を比べながら話し合い、考えをまとめる力」である。話し合いのモデル動画を活用して、話し合いの手順、話し合いのコツ、話し合いの構えについて児童が気付き、身に付けたい力を意識して話し合うことができるようにする。次に示すものは詳細な指導内容である。

モデル動画を活用した指導内容と指導の目的

○話し合いの手順【目的を意識し、見通しをもって話し合う】

＜意見や考えを出し合う（広げる）＞→＜出し合った意見や考えを比較・検討する（比べる）＞→＜話し合いをまとめる（まとめる）＞という話し合いの手順や、司会などの役割について考える。

○話し合いのコツ（技能面）【互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる】

動画は、意見を出し合った場面の後、「まとまらない場面」から「話し合いがまとまった場面」という展開で、「話し合いを通して考えをまとめていく場面」を抜いている。話し合いを通して解決するために「自分たちだったらどうするか」をクラスで問う。児童の発言を基に、「話し合いのコツ」をまとめていく。また、考えのまとめ方として、幾つかの意見を合わせたり、条件に照らしながら一方に決めたり、新しい案を生み出したりする方法があること、また、意見を比較・検討するためには、それぞれの意見に理由を付け足して話すことが大切であることを指導していく。詳細は同項（2）③に記載している。

○話し合いの構え【気持ちよく話し合う】

動画の児童役の言動では、相手の考えを「いいね」「なるほど」と共感的に受け止める言葉や、「うなづく」「相手を見て聞く、話す」などの非言語的な側面も児童が意識できるようにした。話し合いの基本として、言葉遣い等の態度面を丁寧なものにし、場に応じた話し方を捉えられるようにしている。また、少数意見を大切にできるように、全員が納得して話し合いがまとまることを目指すことを伝える。これらは本単元の重点事項ではないが、低学年から積み上げてきた対話の力を話し合いの土台としていつも意識して行うことで、気持ちよく、仲良く、スムーズに話し合うために必要な力であることを実感できるようにする。

話し合いモデル動画の台本（単元第2時で活用）

話題「ヘチマとゴーヤでできた、屋上まである大きなグリーンカーテンを紹介する」

		話し合いのコツ
A 司 会	今日は、私たちの学校の魅力を伝える動画の内容を何にするか決めます。私たちの班は「グリーンカーテン」です。グリーンカーテンのどんな魅力を伝えたいですか？考えてきた意見をBさんから順番に発表してください。	話題の投げかけ 発言の順番
B	私は、「グリーンカーテンの高さ」について発表したいです。理由は、私たちの学校のグリーンカーテンは、とても高いからです。	意見と理由
C	なるほど。私たちの学校ならではですね。私は、「涼しさ」がいいと思います。グリーンカーテンがあると、夏、涼しいですよ。	共感を示す（聞く構え） 意見と理由
D	確かに。僕は、「お世話をがんばったこと」について伝えたいです。この夏は暑かったけど、みんなで水やりを頑張ったからです。	共感を示す（聞く構え） 意見と理由
E	私もCさんと同じで「涼しさについて」がいいと思います。	意見
A	Eさんは、どうして涼しさがいいと思いましたか。	理由を確かめる
E	夏でも、日陰は涼しかったからです。	理由
A	そうでしたね。私の案は、「2種類の植物でできたグリーンカーテンであること」を伝えたいです。理由は、ヘチマとゴーヤのグリーンカーテンは珍しいからです。全部で4つの案ができました。この中から決めていきましょう。決め手は、より伝えたい魅力を選ぶことと、2つ程度に絞ることです。	共感を示す（聞く構え） 意見と理由 決定条件の確認
B	それなら、1番の魅力は、高さだと思います。なぜなら、1階から3階まであるグリーンカーテンは、見たことがないからです。	意見と理由
D	確かに。それいいね。	受け止め
C	Bさんの意見いいですね。私も賛成です。	受け止め
A	Bさんの意見に賛成が多いですね。Eさんはどうですか。	
E	私は、やっぱり涼しさを伝えたいです。グリーンカーテンのある教室とない教室では、涼しさが違いました。	意見と理由

B	確かに。グリーンカーテンのない音楽室は暑かったね。	受け止め
C	グリーンカーテンのある教室は、涼しかったよね。	受け止め
A	では、「高さ」と「涼しさ」で決めてもよいですか？	
D	いやいや。高さがあるのも、涼しいのも、私たちが頑張って育てたからですよ。なので、お世話したことも伝えたいです。	意見と理由
	(児童がそれぞれの意見を主張しあっている様子)	
A	【心の声】 (困ったな……。意見がわれてしまった……。この続き、どうしよう。)	相違点の整理に困る……
	(暗転)	
A	それでは、動画の内容は、この二つで作るといってよろしいでしょうか。よいと思う人は手をあげてください。	話し合ったことの確認
	(暗転)	
A	私たちのグループは、「 」と「 」の2つで決めました。次回は魅力の伝え方の工夫について話し合しましょう。	話し合いのまとめ

②話し合いにおける個人・チームのめあてと振り返り

話し合いに向けて、第2時でモデル動画からクラスで考えた話し合いのコツや構えを基に、課題を意識し、自覚しながら取り組めるように、話し合いをする前に個人・グループのめあてを立てる。また、次の話し合いにつながる振り返りを取り上げる。話し合い1回目のめあては、「話し合いの構え」を焦点化する。全員が話し合いに参加でき、多くの児童が達成できるようにする。振り返りでは、「話をしっかり聞いた」「意見を言うことができた」のような「話し合いの構え」につながる記述の達成を賞賛する。そして、「友達と意見を合わせられた」「新しい考えを伝えられた」のような「話し合いのコツ」につながる考えを全体で価値付ける。話し合い2回目のめあては、「話し合いのコツ」を焦点化する。1回目の話し合いでの成果や課題を確認しながら、グループの考えをまとめるためのめあてを全体で共有していく。振り返りでは、肯定的な振り返りを多く取り上げ、「話し合いの構え」が土台としてあり、「話し合いのコツ」を習得することができていることを指導者が価値付ける。

③チームの人数設定

本単元内では、1チームの人数を6人程度に設定している。この人数設定の意図は大きく2つある。第一は、多角的な意見の交流である。人数が多いほど、様々な意見が出やすく、新しい提案や、対立的な考えが生まれてくる。多角的な意見や考えの交流から、話し合いの活性化をねらうことができる。第二は、話し合いを収束させる意識の自覚である。普段の生活班よりも人数を増やすことで、話し合いがまとまりづらくなる。司会を中心に、チームの全員が意見や考えをまとめることを意識しなければいけない。

人数が多くなれば、話す時間よりも聞く時間が多くなる。一人一人の話す時間を確保でき、最も話し合いが活発に行われるチームの人数は、6人程度が最適であると考えた。

(2) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ人と関わり、新たな考えをもつ。 (確かにする、広げる、高める、深める、などを含む)

①ICT ツールを活用した学校間の交流

チームごとに動画を閲覧したり、他校の児童と交流したりするために、ICT ツール（Class Cloud）を活用する。他校の児童に質問したり、感想を求めたりすることができるため、児童が目的意識や相手意識を明確にして話し合いを進めることができると考えた。

②話し合い活動を支える「話し合いボード」「ヘルプカード」「話し合いの進め方」

話し合い活動の内容を可視化し、整理するためにグループごとに「話し合いボード」と「ヘルプカード」を活用する。また、「話し合いの進め方」は黒板に掲示して話し合いの流れを全員が共通認識できるようにする。

- 「話し合いボード」…グループの話し合いのめあてや、考えを比較・検討する際に活用する。個人の考えを

書いた付箋をボード上で操作したり、決まったことをメモしたりと全員が話し合いの流れをいつでも確認できるようにする。また、話し合いボードには話し合いの「目的」、意識する「相手」、意見の「決め手（決定条件）」、動画の「方法」の4観点を示し、児童は話し合いの収束に向けて、いつでも立ち返れるようにする。この話し合いボードは、思考ツールとしての役割も担うとともに、そのまま動画制作の企画書にもなっている。

- 「ヘルプカード」…話し合い活動の最中、児童が「自分たちだけでは解決できなさそう」と困り感を感じ、指導者を呼ぶ際に使う。児童にとっては、いつでも指導者を呼ぶことができ、安心感が生まれる。本単元では、このカードを使用した際に出てきた児童の声に対して、指導者が解決案を提示するだけでなく、適宜クラスの全体に問い直していく。
- 「話し合いの進め方」…話し合いの手順や進行を黒板に掲示することで、いつでも確認できる場を設ける。司会の進行を助け、全員が見通しをもって取り組めるようにする。

③共通点や相違点を比べながら互いの意見をまとめる話し合いのコツの掲示

本単元では、「目的を意識して互いの意見を比べながら話し合い、考えをまとめる力」を育む話し合いを目指す。そのために、2時間目に視聴するモデル動画から「考えをまとめる方法」を児童とともに考えていくこととした。児童から出た考えを基に、以下の「えがおで解決」を示すことによって、それぞれの考えのよさを比較することの大切さに気づき、共通点や相違点を意識して話し合えるようにしたい。

提示する解決方法（「えがお」で解決）

①考えの理由やよさの違いを比べて【え】らぶ

$$\underline{\underline{A \text{ or } B \rightarrow A}}$$

②考えの理由やよさの共通点で【か】ったいてまとめる

$$\underline{\underline{A + B \rightarrow AB}}$$

③それぞれの考えのよさを合わせて新しい、【オ】リジナルな考えを生み出す】

$$\underline{\underline{A \times B \rightarrow C}}$$

また、第3時からの話し合いでは、話し合いの状況に応じて、全体の学びの時間を設ける。前述②の「ヘルプカード」を使ったチームの声や、指導者が全体を俯瞰した時に「よい進行があり、全体に共有したい」話し合いの更なる伸長の共有や、複数のグループの同じような困り感による話し合いの進行に関する改善案の共有など、必要と感じた時に全体の学びを行う。

④毎時間の学びを蓄積する「言葉の宝箱」

話し合いのコツや構えについて、また、話し合いの振り返り等を「言葉の宝箱」と称して掲示していく。「言葉の宝箱」は、学びの足跡を確かめるだけでなく、話し合いの最中の補助的な役割が担えようとする。

(3) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

本単元を通して、「互いの意見を比べながら考えをまとめて話し合う中で、関わり合うよさを実感」できるように計画している。目的に合った1分のショート動画を作成するための計画・実行は、一人では実現が難しいため、考えをまとめるための話し合いや友達との協力が必要となる。互いの意見の共通点や相違点に着目しながら、考えがまとまるように話し合いを進めるためには、互いの考えを合わせたり、新しい考えを生み出したり、時には自分の考えとは違っても折り合いを付けたりする場面が出てくる。こうした「互いの意見を比べながら話し合う」活動の経験が、他教科や日常生活の中でも自信をもって相手を求めて関わる礎になると考える。

また、獲得した言葉の力を日常生活にも生かせるように、話し合い活動を単元内に2回設定した。繰り返し話し合いに取り組むことで、児童が自分たちの「話し合いの仕方」が徐々に高まっていくことを実感でき、話し合う内容についてもより洗練・具体化していくことを実感できるのではないかと考える。

話し言葉の学習は、そのまま他教科の学習で生かすことができるものであることから、国語科での学びが、学校生活の中で活用されることが期待できる。この往還を豊かにしていくことが、実生活における児童の言語生活も豊かにすることにつながると考える。本単元の活動を通して得られる「話し合い」の力が、他教科のみならず日常生活の中でも生かされるよう、関わり合うよさを大切にしながら、学習に取り組めるようにしていく。

6 単元計画（全6時間）

過程(次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
第一次 話題の設定・情報の収集・内容の検討	1	<p>1 単元のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校宣伝部になって、自分たちの学校の魅力を他の学校の子供たちに紹介する1分動画を作ろう。</p> </div> <p>2 自分たちの学校の魅力について、思考ツールで考えを広げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第五大島小学校のみカを出し合い、学習計画を立てよう。</p> </div> <p>3 学習計画を立てる。</p>	<p>○自分たちの学校魅力を「1分動画」で「他校の同級生」に伝えることを共有する。</p> <p>○写真や学校HPなどで交流先の学校について簡単な紹介をすることで、相手意識と目的意識をもたせる。</p> <p>○「1分動画」の内容を精選するためには「話し合い」が必要であることを全体で確認しながら、話し合い方を学習する単元であることを児童にも意識させる。</p> <p>○自分たちの学校の魅力を全体で出し合う。その後、自分が伝えたい魅力を3つ程度に絞り、希望を提出させる。それぞれの希望を基に、指導者がグルーピングをする。</p> <p>○児童に「動画を作るためには何が必要か」について問いながら学習計画を立てることで、話し合い活動の必要感と学習の見通しをもたせる。</p> <p>○児童が日常で視聴している動画と、その面白さや分かりやすさについて聞き、「内容」を精選することと「工夫」を取り入れることが必要であることを意識させる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔主体的に学習に取り組む態度①〕 ワークシート・発言 ・自校の魅力についての考えを記述したり、発言したりしているかの確認</p> </div>

児童と立てる学習計画例

(○・・・単元の配当時間 「」・・・児童に提示する当該時間の学習概要 △・・・休み時間など各チームで必要な時間に行う活動)

- ①「第五大島小学校のみカを考え、学習計画を立てる。」(本時)
 - ②「自分の宣伝チームを確認し、話し合い活動のモデル動画から話し合いの進め方やコツ、構えを学習する。」
 - ③④「1分動画の「内容」について考える話し合い1回目を行う。」
 - ⑤「話し合い1回目で決まったことを伝えるための「工夫」について考える話し合い2回目を行う。」
- △「動画の撮影を行い、ICTツールで他校に届ける。」
- ⑥「自分たちの動画や他校の1分動画を視聴してコメントを送ったり、振り返ったりと学習のまとめをする。」

第二次 話し合いの進め方の検討・考えの形成	2	1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">話し合いのモデル動画から「決める」話し合いの進め方を考え、話し合いのコツをつくろう。</div> 2 これまでの話し合い活動の経験を振り返る。 3 モデル動画を視聴して、話し合い活動の進め方や役割を確かめる。 【役割】 司会（1名）・書記（2名） 【話し合いの基本的な進め方】 ①話し合うことを確かめ、考えを出し合う。 ②出し合った考えを比べ合う。 ③話し合いをまとめる。 ④決まったことを確認する。 4 話し合い活動のモデル動画から「学習活動3③『話し合いをまとめる』」の解決方法を考える。	○担当するチームを指導者から児童に伝える。 ○前時の学習計画を確認して、「決める」話し合いの仕方について学習することを共有して、本時の見通しをもたせる。 ○これまでの話し合い活動の経験を振り返り、「いくつかの意見をまとめること」に対する課題意識をもたせる。 ○モデル動画から、初めは「役割」と「基本的な進め方」について全員に理解させる。 ○モデル動画の原稿を提示しながら、「基本的な進め方」に沿った児童役の発言を整理する。 ○次時から活用する「話し合いボード」「ヘルプカード」の活用方法を理解させる。 ○モデル動画の未解決場面はいくつかの意見が出たことで「話し合いのまとめ方に困った」ことを確認する。その後、全員で解決方法について考えることで、話し合いのコツについての理解を深める。 ○「えがおで解決」についての方法を伝え、まとめ方については様々な方法があることを共有する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・技能①】 ワークシート・発言 ・話し合いのまとめ方の解決方法について考えているかの確認 </div>
	3・4	1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【「宣伝チーム話し合い1回目」】みかを伝えるための1分動画の内容について、話し合って決めよう。</div> 2 個人の考えを付箋に書く。	○前時で確認した話し合いのコツや構え、また、「話し合いボード」「ヘルプカード」の役割を確認する。 ○一人一人の考えを大切にすることと、今回の話し合いは詳細ではなく動画の大枠決める話し合いであることを確認する。 ○自分の考えを端的に書かせる。考えの理由は、話し合い時に伝えさせる。	

提示する解決方法（「えがお」で解決）

【① 考えの理由やよさの違いを比べて【え】らぶ】

$$\underline{A \text{ or } B} \rightarrow \underline{A}$$

【② 考えの理由やよさの共通点で【が】ったいしてまとめる】

$$\underline{A + B} \rightarrow \underline{AB}$$

【③ それぞれの考えのよさを合わせて新しい、【オ】リジナルな考えを生み出す】

$$\underline{A \times B} \rightarrow \underline{C}$$

〔思考・判断・表現①〕
 ワークシート・発言
 ・話し合いの仕方やめあてを意識しながら活動できたかの確認

3 チームごとに話し合いの計画を立てる。
 ・役割を決める。
 ・本時で決めることを確認して、グループのめあてを決める。
 【想定されるめあての例】
 ・友達の話をしっかり聞く。
 ・理由を分かりやすく話す。

4 チームごとに話し合い活動を行う。
 【想定される内容の例】
 魅力「グリーンカーテン」
 内容・大きさや高さについて
 ・メリットについて

 魅力「クラスのチームワーク」
 内容・休み時間の過ごし方
 ・行事に一生懸命なところ

 魅力「給食が美味しいこと」
 内容・人気のメニューを紹介
 ・栄養士へのインタビュー

 魅力「担任の先生紹介」
 内容・先生の得意なこと
 ・児童にインタビュー

 魅力「地域行事」
 内容・普段できないことをやる
 ・他のクラスの子にも聞く

5 本時の話し合い活動を振り返る。

6 次の工夫についての話し合いに向けて、めあてを決め、個人の考えを付箋に書く。

○チームのめあてを「話し合いボード」に記入することで、話し合いの最中も意識できるようにする。
 ○今回のめあては、「話し合いの構え」を焦点化して価値付ける。

○話し合いの最中、指導者は各チームの進行具合を確認しつつ、チームの考えなどを評価したり、小さなヒントを出したり、時間を通知したりと、司会を補佐する役割をする。
 ○話し合いの状況に応じて、全体で解決方法について学びを共有する時間を取り入れる。指導場面は、以下の場合を想定する。
 ・よい進行があり、全体に共有したいこと。(伸長の共有)
 ・ヘルプカードの内容や幾つかのグループが同様に困っているなど、全体で確認が必要なこと。(改善案の共有)

○チームのめあてを振り返り、チームごとに「よかった」と、「がんばりたいこと」を振り返る。
 ○できるだけ多くの児童の話し合いの「構え」や「コツ」を賞賛して価値付ける。

○本時の話し合いで決まったことと照らし合わせながら書く。
 ○自分の考えを端的に書かせる。考えの理由は、話し合い時に伝えさせる。
 ○次回のめあては、「まとめる」「決める」といったチームの考えをまとめることに注目していくことを共有する。

5
本
時

1 本時のめあてをつかむ。

【宣伝チーム話し合い2回目】

1 回目の話し合い活動を基に、
みかを伝えるための1分動画
の工夫について、話し合って
決めよう。

2 チームごとに話し合いの計画を
立てる。

- ・役割を決める。
- ・本時で決めることを確認して、
グループのめあてを決める。

【想定されるめあての例】

- ・みんなの考えのよいところを合
体させた工夫をつくる。
- ・アイデアをまとめた工夫をつ
くる。

3 チームごとに話し合い活動を行
う。

【想定される工夫の例】

魅力「グリーンカーテン」

内容・大きさや高さについて
・メリットについて

工夫→実際に実物の前で撮影す
る。

→グリーンカーテンのある場
所と無い場所で気温を測り
比べる。

魅力「クラスのチームワーク」

内容・休み時間の過ごし方
・行事に一生懸命なところ

工夫→遊んでいる様子を見せる。

→行事に取り組んでいる写真
を見せる。

魅力「給食が美味しいこと」

内容・人気のメニューを紹介
・栄養士へのインタビュー

工夫→給食の写真をのせる。

→インタビュー動画をのせ
る。

魅力「担任の先生紹介」

内容・先生の得意なこと
・児童にインタビュー

工夫→先生に実演してもらう。

→ニュース風にする。

魅力「地域行事」

内容・普段できないことをやる。
・他のクラスの子にも聞く。

○前時で確認した話し合いの
コツや構え、また、「話し合
いボード」「ヘルプカード」の
役割を確認する。

○一人一人の考えを大切に
することと、今回の話し合
いは詳細ではなく動画の大
枠を決める話し合いである
ことを確認する。

○チームのめあてを「話し合
いボード」に記入すること
で、話し合いの最中も意識で
できるようにする。

○めあては、「みんな」や「ま
とめる」といったチームの
考えをまとめることに向
けた文言を取り上げて共
有して、意識させる。

○話し合いで決めていく考え
は、動画の「工夫」の大枠
であることを伝えるため
に、幾つか例（左記「学習
活動【想定される工夫の
例】参照」を提示する。

○話し合いの最中、指導者は各
チームの進行具合を確認
しつつ、チームの考えなど
を評価したり、小さなヒ
ントを出したり、時間を通知
したりと、司会を補佐する
役割をする。

○話し合いの状況に応じて、全
体で解決方法について学
びを共有する時間を取り
入れる。指導場面は、以
下の場合を想定する。

・よい進行があり、全体に共
有したいこと。（伸長の共
有）

・ヘルプカードの内容や幾
つかのグループが同様に
困っているなど、全体で確
認が必要なこと。（改善案
の共有）

○想定時間よりも、早く話し
合いが完結した場合は、決
まったことの詳細について
話し合ってもよいことを
伝える。

【思考・判断・表現①】
ワークシート・発言

・話し合いの仕方やめあ
てを意識しながら活動
できたかの確認

		工夫→地域行事を幾つか紹介する。 →うちの人も地域行事に参加していた〇〇さんに話を聞く。 4 本時の話し合い活動を振り返る。	○チームのめあてを振り返り、チームごとに「よかった」と、「がんばりたいこと」を振り返る。 ○児童の発言等について、できるだけ多くの児童を賞賛して価値付ける。	
第三次 共有	課外	1 話し合い活動の内容を基に、1分間で学校の魅力を伝える動画を撮影する。 2 撮影した動画を ICT ツールに投稿する。 ※撮影は、「給食を撮影したい」や「休み時間の様子を撮りたい」など、授業時間に限らない発想が想定される。そのため、課外として撮影時間を設定する。	○「話し合いボード」を撮影の企画書として活用し、加筆、修正しながら動画の作成にあたるように伝える。 ○他校に紹介する視点を再確認し、言動等を必ず確認する。	
	6	1 本時のめあてを確認する。 「みかを発見！われら学校宣伝部」の学習を振り返り、他校からのコメントを読みながら、学習のまとめをしよう。 2 作成した動画をクラス内で鑑賞し合う。 3 単元の学習を振り返る。 【○振り返りの観点 →想定する児童の振り返り】 ①話し合い活動において、どのような力が身に付いたと感じるか。 →友達の考えをよく聞くことが大切。 →グループの考えが割れた時は、よりよくできないか、合体できないかを考えることが必要。 ②他校の児童との交流を通して考えたことは何か。 →自分の学校の魅力が分かった。	○この単元は「話し合いの力」を身に付けるための学習であったことを確認して、それに対する振り返りを行う時間であること伝える。 ○チームのテーマと、話し合いで決まった動画の内容、工夫したことを簡単に伝える。 ○自己の振り返りを肯定的に振り返れている内容を中心に取り上げて、指導者がフィードバックを行う。 ○①の項目では、話し合いの構えやコツについて、また、チームでの話し合いについての2観点で振り返ることを伝える。 ○②の項目では、自分たちの作った動画についての成果や課題を様々な児童の	〔主体的に学習に取り組む態度①〕 ワークシート・発言 ・他校の児童や友達のコメントから、話し合い活動を振り返り、話し合い活動についての自己を総括的に評価できているかの確認

→あまり関わりのない同級生にも魅力が伝わった。
→他校の動画を見て、もっと工夫できることがあった。

③今回の単元を、今後どのような場面で活用していきたいと思うか。
→新たな魅力を知れたので、5年生になったら委員会で提案したい。
→学級会で話し合う時も、意見を合体させる方法を使って、上手に司会をしていきたい。

4 投稿した1分動画への他校からのコメントを読んだり、他のグループの動画を見たりする。

コメントや活動から振り返る。

○③の項目では、国語科の学習に限らず身に付けた力が、教科横断的に活用できることを共有して、価値付けていく。

○他校の児童から届いた感想から、自分たちの伝えたかったことや意図して取り入れた工夫が受け取られたのかを確かめることで、「話し合ったことが生かされたかどうか」を実感するとともに、「チームで話し合って、チームで取り組めてよかった」という充実感や達成感をもてるようにする。

7 本時の学習（5／6）

（1）本時のねらい

伝えたい魅力がより伝わる動画の工夫について、自分たちの動画にどのような工夫を取り入れるか、互いの意見を比較しながら検討して、話し合うことができる。

（2）本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【宣伝チーム話し合い活動2回目】 1回目の話し合い活動を基に、ミカを伝えるための1分動画の工夫について、話し合っ決めてよう。</p> </div> <p>2 チームごとに話し合いの計画を立てる。 ・役割を決める。 ・本時で決めることを確認して、グループのめあてを決める。 【想定されるめあての例】 ・みんなの考えのよいところを合体させた工夫をつくる。 ・アイデアをまとめた工夫をつくる。</p> <p>3 チームごとに話し合い活動を行う。 【想定される工夫の例】 魅力「グリーンカーテン」 内容・大きさや高さについて ・メリットについて 工夫→実物の前で撮影する。 →グリーンカーテンのある場所と無い場所で気温を測り比べる。</p> <p>魅力「クラスのチームワーク」 内容・休み時間の過ごし方 ・行事に一生懸命なところ 工夫→遊んでいる様子を見せる。 →行事に取り組んでいる写真を見せる。</p> <p>魅力「給食が美味しいこと」 内容・人気のメニューを紹介 ・栄養士へのインタビュー 工夫→給食の写真のをせる。 →インタビュー動画をのをせる。</p>	<p>○前時までに学習したことを揭示物（「言葉の宝箱」「話し合いボード」「話し合いの進め方」）を基に振り返る。</p> <p>○一人一人の考えを大切にすることと、今回の話し合いでは詳細ではなく動画の大枠を決める話し合いであることを確認する。</p> <p>○1回目の話し合いで決まったことに関連させた工夫を考えていくことを押さえる。</p> <p>○チームのめあてを「話し合いボード」に記入することで、話し合いの最中も意識できるようにする。</p> <p>○めあては、「みんな」や「まとめる」といったチームの考えをまとめるための文言を取り上げて共有する。</p> <p>○話し合いで決めていく考えは、動画の「工夫」の大枠であることを伝えるために、幾つか例（左記「学習活動【想定される工夫の例】参照」を提示する。</p> <p>○話し合いの最中、指導者は各チームの進行具合を確認しつつ、チームの考えなどを評価したり、小さなヒントを出したり、時間を通知したりと、司会を補佐する役割をする。</p> <p>○話し合いの状況に応じて、全体で学びを共有する時間を取り入れる。指導場面は、以下の場合を想定する。 ・よい進行があり、全体に共有したいこと。（伸長の共有） ・ヘルプカードの内容や幾つかのグループが同様に困っているなど、全体で確認が必要なこと。（改善案の共有）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【思考・判断・表現①】 ワークシート・発言 ・話し合いの仕方やめあてを意識しながら活動できたかの確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿】 ・目的に応じて言葉を選択しながら友達と関わり、チームの考えの収束に向けて話し合い活動に参加している。</p> </div>

魅力「担任の先生紹介」

内容・先生の得意なこと
・児童にインタビュー

工夫→先生に実演してもらう。

→ニュースのようにインタビュアーが質問する。

魅力「地域行事」

内容・普段できないことをやる。
・他のクラスの子にも聞く。

工夫→地域行事を幾つか紹介する。

→おうちの人や地域行事に参加していた〇〇さんに話を聞く。

4 本時の話し合い活動を振り返る。

- ・チームでの振り返り・・・チームのめあてをどの程度達成できたか。
- ・個人での振り返り・・・チームのめあてに対して、自分がどのように話し合い活動に参加することができたか。
- ・全体での振り返り・・・2回の話し合い活動を通して、どのような話し合いの力が身に付いたと思うか。

○想定時間よりも、早く話し合いが完結した場合は、決まったことの詳細について話し合ってもよいことを伝える。

○チームのめあてを振り返り、チームごとに話し合い活動をして「よかった」ことと、撮影に向けて「がんばりたいこと」を振り返る。

○考えをまとめるための発言等について、できるだけ多くの児童を賞賛して価値付ける。